

婦人検診のお知らせ

10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」
あなたを必要とする人のためにもがん検診を受診しませんか

国民の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。日本人にとって「国民病」と言っても過言ではない状況となっています。

「乳がん検診」について

乳がんは女性に一番多いがんで、40～50代をピークに発症や死亡が増加しています。日本人女性の12人に1人が生涯で乳がんにかかる恐れがあります。乳がんは、小さいうちに見つけると治る可能性の高い病気です。早期に見つかり、適切な治療を受けた場合、90%以上は治ります。また、乳がん検診(乳房マンモグラフィ)は、死亡率減少効果がはっきりと証明されたがん検診です。40歳以上の女性は2年に1回、検診を受けましょう。特に50歳以上の方に対しては強く検診を勧めます。

「子宮頸がん検診」について

近年、39歳以下の日本人女性で子宮頸がんの発症や死亡が増えています。子宮頸がんは女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。若い女性(20～30代)は乳がんに次いで2番目に多いがんです。

子宮頸がん検診は、死亡減少効果の期待できる有効ながん検診です。がんになる前の「前がん病変」やごく初期のがんを高精度に発見でき、治療も小さい範囲の簡単な手術で完治することもできます。20歳以上の女性は2年に1回、検診を受けましょう。特に25歳以上の方には強く検診を勧めます。

町では、11月12日～11月15日の間に乳がん・子宮がん検診の集団健診を実施します。対象の方にはこれから通知でご案内します。この機会にぜひ検診を受けましょう！

お問合せ 福祉課 健康づくり班 ☎985-7124

こども医療費助成事業に係る貸付制度

こども医療費助成の新たな制度が始まります。

●「貸付制度」とは？ 医療機関窓口での支払いが困難な方に対して、町が医療資金を貸し付けることにより、こどもの疾病の早期治療を目的としています。

病院で、久米島町長が交付する資格認定証(貸付制度)と保険証を提示して受診し、保険の自己負担分の支払いを保留します。利用者は町から医療資金を借り受け、病院に自己負担分の支払いを行います。町からの貸付金はこども医療費助成金により返済される方法です。

※医療費の自己負担分の支払いが困難な方でも資金を借り受け安心して治療が行えます。

●いつから始まるの？ — 平成28年10月から登録医療機関で貸付制度を利用することができます

平成28年10月受診分から、以下の登録医療機関(平成28年10月時点) 1. 公立久米島病院 2. 県立病院

●何か特別な手続は必要ですか？ — 役場で手続を行う必要があります！

貸付制度を利用するためには、役場福祉課窓口で資格の認定を受ける必要があります。

制度を利用できる方は、

- ・ こども医療費助成事業の対象者であること
- ・ 非課税世帯であること

ただし、医療費が入院等による高額で支払いが困難と市町村長が認める方を含むであり、町長の審査のうえ資格認定証を交付します。

●全ての医療費が対象になるの？ — こども医療費助成事業の対象となる経費です

こども医療費助成事業で助成できる経費となります。保険外診療、入院時食事療養費、選定療養費(紹介状無しで大きな病院を受診したときの初診加算料など)は病院窓口で支払う必要があります。

お問合せ 福祉課 こども医療費係 ☎985-7124

認知症サポーター養成講座 随時開催します！



認知症サポーターとは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

対象者: 久米島町在住(もしくは在勤、在学)している町民を対象に実施します。また、5名以上より講座を開催したいと思います。

※日程や時間、場所等は、受け付け後調整し決定します。随時受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

お問合せ 福祉課 包括支援センター ☎985-7124

『具志川城跡発掘作業員』の募集について

【作業内容】 具志川城跡発掘作業及び清掃作業

【募集人数】 3人

【募集要件】 普通自動車免許、島内在住者で明るく健康な方。文化財に興味のある方。

【勤務期間】 平成28年10月26日(水)～平成29年1月31日(火)(予定)

【勤務条件】 ①勤務時間 8:30～17:15(週4日勤務) ②休日: 日・月曜日、祝祭日

【待遇】 日給7,900円、社会保険・労災保険 有り

【その他】 久米島町賃金職員管理規定に基づく

【募集期間】 平成28年10月1日(土)～10月15日(土) 【提出書類】 履歴書

【提出先および問い合わせ先】 久米島博物館(896-7181) *月曜日休館

2016世界の久米島チュ大会関連企画展

久米島博物館では、世界の久米島チュ大会開催を記念し、関連企画展を開催します。町民の皆様をはじめ、久米島出身者やご親戚の皆様の来館をお待ちしています。

【開催期間】 平成28年10月22日(土)～11月13日(日)

【開催内容】

①『久米島のサンバ写真展』(博物館講堂)

三浦重光さん(愛知県岡崎市在住)による久米島で観察された迫力満点のサンバの写真展。写真展に先立ち10月15日(土)には「サンバ観察会」を開催予定。

②『ハブヒルパネル展』(博物館ロビー)

米軍統治時代(本土復帰前)の久米島を当時駐留していた米兵が撮影した写真を展示する『ハブヒルパネル展』。当時の人びとの生き生きとした表情や水田などの美しい風景など、懐かしい写真の一部を展示します。博物館では平成15年以来、13年ぶりの開催です。

③『久米島の文化財展』及び『古文書修復展』(特別展示室)

町内にある貴重な文化財や最新の調査・整備状況を紹介する展示会。『具志川城跡(町仲村渠、国指定)』整備状況や平成25年度に修復した『島尻の石墓(町島尻、町指定)』のほか、平良朝正氏(字比嘉出身)制作の古民家模型のうち、かつて久米島関係の模型を4点を展示します。また、沖縄振興特別推進交付金によって修復を終えた県指定有形文化財『上江洲家資料(歴史資料)』の原本と翻刻本の一部を公開し、事業の成果について初めて紹介します。

久米島町史編集委員会だより

久米島町史編集委員会では『久米島町史通史編(平成30年度予定)』刊行に向けて、今年11月より沖縄戦当時の久米島や戦後から本土復帰までの久米島について聞き取り調査を始める予定です。

戦争体験や戦中・戦後の生活の様子についての聞き取りを行うほか、各字の戦災地図作成等を行う予定です。実施に当たり、証言できる方の紹介について各字老人会へ依頼を行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

久米島町史編集委員会事務局では体験者の証言できる方に関する情報のほか、久米島町に関する文書や資料、写真等を集めています。資料や情報の提供についてご協力よろしくお願いいたします。

【連絡先】 久米島町史編集事務局(久米島博物館内、896-7181)

久米島博物館10月の休館日、特別開館のお知らせ

休館日 毎週月曜日

お問合せ 久米島博物館 ☎896-7181(月曜日休館)